

平成24年度事業報告

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

【I】基本方針

余暇時間の増大、高齢化の進行など社会環境の変化は、人々の生活様式にも急激な変化をもたらし、国民の健康に関する意識の向上と共に、スポーツに寄せる関心は益々高まりを見せています。

このような情勢下、スポーツ科学の振興を目的とする当財団ではこの期待に応えるべく、改めて事業の重要性を認識し、事業活動の推進を図ってまいりました。

まず、健康の増進と体力向上及びスポーツに関連する学術研究の助成事業では、財団選定テーマによる研究委託並びに研究課題公募による研究助成を引き続き実施いたしました。

一方、公益財団法人日本体育協会への助成を行い、国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するとともに、公益財団法人日本オリンピック委員会に対しても、オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化を目的として同様の助成を行いました。また、スポーツ科学の国際交流推進を目的として日本体力医学会へ助成を行いました。

なお、平成23年度の事業成果を広く関係者に公表するため、機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.33を発行いたしました。

【II】事業報告

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

1)研究委託 (2件 200万円)

学術委員会において審議の結果、下記2件を選定し、本年度委託研究テーマとして研究を委託いたしました。

- ① 衣服設計のための3次元計測で得られる点群データと人体の曲率に関する研究
奈良女子大学 今岡 春樹
- ② COPD患者の運動時および運動後の前頭前野の酸素化動態と注意機能に関する研究
～酸素吸入効果の検討～
大阪市立大学 藤本 繁夫

2)自由課題研究（総額 800 万円）

全国にわたる 112 の大学または、その他の学校、研究機関より応募された 176 件の課題の中から学術委員会の審査の結果、下記 16 件に対し助成を行いました。

●優秀入選（各 50 万円）

- ① 水平面の力変動から膝関節周りの筋の至適方位を定量する
京都大学 神崎 素樹
- ② 中高年者の脳萎縮を抑制する日常歩行量の解明
～地域からの無作為抽出者を対象とした大規模縦断研究～
国立長寿医療研究センター 幸 篤武
- ③ サルコペニアの予防・改善を目的とした筋力トレーニングの効果を
事前に予知可能にする遺伝子多型の同定
東海大学 町田 修一
- ④ 使用者の意図を推定するインテリジェント・トレッドミルの開発と
これを用いた運動効果の検証
神戸大学 長野 明紀
- ⑤ 衣服の波長域別日射熱遮蔽性能の表示法に関する研究
北海道大学 栞原 浩平
- ⑥ ポリエステル化繊を原因とする新規接触性皮膚炎診断法の開発と患者頻度の介入調査
高知大学 弘田 量二
- ⑦ 選手の素早い反応を実現する超短潜時の視覚運動処理系の特性
大阪大学 門田 浩二
- ⑧ 有酸素運動トレーニングが活動筋の酸素供給と消費のバランスに及ぼす効果
神戸芸術工科大学 古賀 俊策
- ⑨ 高齢者が免疫機能を維持するために最適な日常身体活動の時間帯(タイミング)
～体動計 1 年連続装着から得られる身体活動データの分析結果～
東京都健康長寿医療センター研究所 綾部 誠也

- ⑩ 脚自転車最大運動時のパフォーマンスに及ぼす走行勾配感覚の影響
 県立広島大学 三浦 朗
- ⑪ 探索時間法を用いたスポーツウエアにおける色・柄の視認性評価
 大阪樟蔭女子大学 小林 政司
- ⑫ 神経生理学的視点に立った前十字靭帯（ACL）損傷後の
 新たなリハビリテーション戦略の開発
 防衛大学校 小西 優
- ⑬ 前腕部の繰り返し冷却に伴うハンドグリップ運動時骨格筋酸素動態の適応
 九州大学 若林 斉
- ⑭ 加齢により蓄積される筋内脂肪量と筋量との関係
 名古屋大学 押田 芳治
- ⑮ 靴の形状が姿勢・歩容・関節負荷に及ぼす動態力学的影響
 文化学園大学 永井 伸夫
- ⑯ 方向転換走能力を決定する要因の探索
 鹿屋体育大学 高井 洋平

○学術委員（順不同、敬称略）

佐藤 祐造	宇佐美 暢久	梶原 莞爾
川原 貴	島崎 恒藏	下光 輝一
下村 吉治	田中 宏暁	田村 照子
永富 良一	中島 利誠	西松 豊典
西村 太良	平田 耕造	廣田 孝子
福永 哲夫	藤本 繁夫	吉岡 利忠

○助成金交付 平成 24 年 7 月

○研究成果報告書提出 平成 24 年 11 月 25 日

- (2)スポーツ科学の国際交流を目的とする団体の助成（100万円）
諸外国とのスポーツ科学における人的・学問的交流を積極的に推進するため、日本体力医学会への助成を行いました。
- (3)スポーツの振興・発展を目的とする団体の助成（250万円）
国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するため、公益財団法人日本体育協会に助成を行いました。
- (4)わが国のオリンピック事業の推進を目的とする団体の助成（250万円）
オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化に寄与するため、公益財団法人日本オリンピック委員会に助成を行いました。
- (5)機関誌の発行
平成 23 年度の事業内容を公表するため第 33 回研究成果報告書を中心とする「デサントスポーツ科学」Vol.33 を本年 6 月に発行し広く研究機関関係者に公表致しました。
- (6)スポーツの施設・用具・衣服に関する学術的資料の収集、保存及び公開、当財団事業推進に関し必要と思われる学術的資料の収集を図るため、日本体力医学会、社団法人繊維学会、社団法人日本繊維製品消費科学会等に対し賛助を行いました。

以上

貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,294,081	18,328,359	△ 1,034,278
前払金	0	570,000	△ 570,000
流動資産合計	17,294,081	18,898,359	△ 1,604,278
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	1,479,780,833	1,102,768,131	377,012,702
現金預金	0	200,000,000	△ 200,000,000
基本財産合計	1,479,780,833	1,302,768,131	177,012,702
固定資産合計	1,479,780,833	1,302,768,131	177,012,702
資産合計	1,497,074,914	1,321,666,490	175,408,424
II 負債の部	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本金	1,479,780,833	1,302,768,131	177,012,702
指定正味財産合計	1,479,780,833	1,302,768,131	177,012,702
(うち基本財産への充当額)	(1,479,780,833)	(1,302,768,131)	(173,875,272)
2. 一般正味財産	17,294,081	18,898,359	△ 1,604,278
正味財産合計	1,497,074,914	1,321,666,490	175,408,424
負債及び正味財産合計	1,497,074,914	1,321,666,490	175,408,424

正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 基本財産運用益	
基本財産受取利息	9,694,840
基本財産受取配当金	12,421,944
基本財産運用益計	22,116,784
② 受取寄附金	
受取寄附金	5,000,000
受取寄附金計	5,000,000
③ 雑収益	
受取利息	6,737
雑収益	8,504
雑収益計	15,241
経常収益計	27,132,025
(2) 経常費用	
① 事業費	
研究助成費	10,953,000
支払寄附金	6,000,000
機関誌発行費	5,397,555
事業費計	22,350,555
② 管理費	
支払報酬	2,370,408
会議費	1,400,689
旅費交通費	1,581,925
資料収集費	725,000
通信運搬費	112,134
雑費	195,592
管理費計	6,385,748
経常費用計	28,736,303
当期経常増減額	△ 1,604,278
当期一般正味財産増減額	△ 1,604,278
一般正味財産期首残高	18,898,359
一般正味財産期末残高	17,294,081
II 指定正味財産増減の部	
基本財産評価益	177,012,702
当期指定正味財産増減額	177,012,702
指定正味財産期首残高	1,302,768,131
指定正味財産期末残高	1,479,780,833
III 正味財産期末残高	1,497,074,914

正味財産増減計算書内訳表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	9,694,840		9,694,840
基本財産受取配当金	12,421,944		12,421,944
基本財産運用益計	22,116,784		22,116,784
② 受取寄附金			
受取寄附金	4,239,782	760,218	5,000,000
受取寄附金計	4,239,782	760,218	5,000,000
③ 雑収益			
受取利息		6,737	6,737
雑収益		8,504	8,504
雑収益計		15,241	15,241
経常収益計	26,356,566	775,459	27,132,025
(2) 経常費用			
① 事業費			
研究助成費	10,953,000		10,953,000
支払寄附金	6,000,000		6,000,000
機関誌発行費	5,397,555		5,397,555
事業費計	22,350,555		22,350,555
② 管理費			
支払報酬	2,133,367	237,041	2,370,408
会議費	1,400,689		1,400,689
旅費交通費	1,423,733	158,192	1,581,925
資料収集費	652,500	72,500	725,000
通信運搬費	0	112,134	112,134
雑費	0	195,592	195,592
管理費計	5,610,289	775,459	6,385,748
経常費用計	27,960,844	775,459	28,736,303
当期経常増減額	△ 1,604,278	0	△ 1,604,278
当期一般正味財産増減額	△ 1,604,278	0	△ 1,604,278
一般正味財産期首残高			18,898,359
一般正味財産期末残高			17,294,081
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益			177,012,702
当期指定正味財産増減額			177,012,702
指定正味財産期首残高			1,302,768,131
指定正味財産期末残高			1,479,780,833
III 正味財産期末残高			1,497,074,914

注) 支払報酬、旅費交通費、資料収集費は公益目的事業会計90%、法人会計10%にて配賦している。

財 産 目 録
平成25年3月31日現在

(単位：円)

科 目	使用目的等	金額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
普通預金 三井住友銀行船場支店	運転資金として使用している。	7,825,353
普通預金 北國銀行大阪支店	運転資金として使用している。	9,468,728
現金預金合計		17,294,081
流動資産合計		17,294,081
2. 固定資産		
基本財産		
投資有価証券 スウェーデン地方金融公社債	公益目的保有財産であり、運用益を主に公益目的事業の財源として使用している。	100,000,000
ロイズTSBバンク（ユーロ円債）	同上	100,000,000
シルフリミテッド（ユーロ債）	同上	100,000,000
オーストラリア・コモンウェルス銀行（ユーロ債）	同上	100,000,000
ノムラ・ヨーロッパ・ファイナンス（ユーロ債）	同上	100,000,000
株式会社デサント株式1,552,743株(時価631円)	同上	979,780,833
基本財産合計		1,479,780,833
固定資産合計		1,479,780,833
資産合計		1,497,074,914
II 負債の部		
負債合計		0
正味財産		1,497,074,914

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

投資有価証券については、総平均法による原価法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,102,768,131	377,012,702		1,479,780,833
現金預金	200,000,000		200,000,000	0
合計	1,302,768,131	377,012,702	200,000,000	1,479,780,833

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,479,780,833	1,479,780,833	0	0
合計	1,479,780,833	1,479,780,833	0	0

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、評価額及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	評価額	評価損益
投資有価証券			
スウェーデン地方金融公社債	100,000,000	93,160,000	△ 6,840,000
ロイズTSBバンク (ユーロ円債)	100,000,000	101,130,000	1,130,000
シルフリミテッド (ユーロ円債)	100,000,000	106,580,000	6,580,000
オーストラリア・コモンウェルス銀行 (ユーロ債)	100,000,000	88,920,000	△ 11,080,000
ノムラ・ヨーロッパ・ファイナンス (ユーロ債)	100,000,000	90,790,000	△ 9,210,000
合計	500,000,000	480,580,000	△ 19,420,000